

酸性硫酸塩土壌・酸性土壌用中和資材

ドクターペーハー

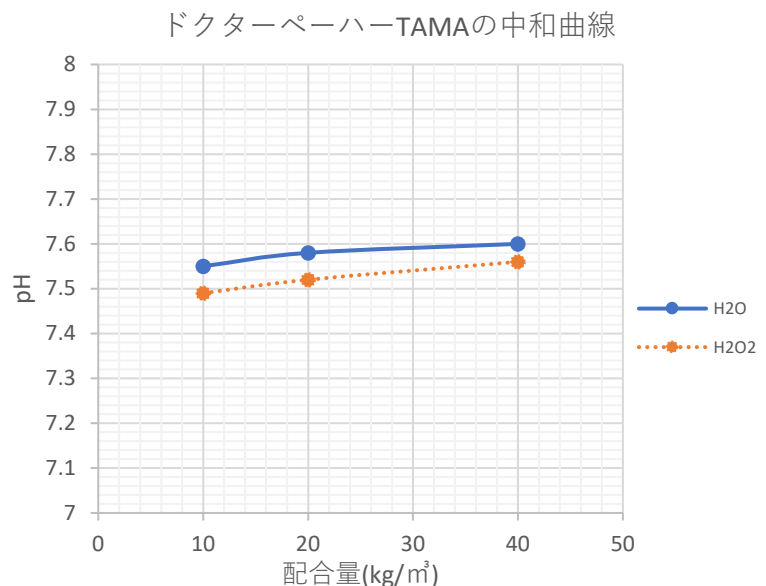
TAMA

造園・農業・法面緑化などのすべての酸性土壌の中和材として安全に利用できる製品です。

右図は pH3.0 程度の土壌に配合したときの中和曲線ですが、入れ過ぎによるアルカリ化が生じません。

農業分野で弱酸性に調整したいときは中和試験を実施し配合量を正確に求める必要があります。

法面緑化の場合、1 m²あたり 1~2kg を目安に客土材や植生基盤材に混合し吹付けてください。客土や基盤層内部を中性に保持します。弱アルカリなので種子と混合しても発芽や生長に影響を与えません。



製品の特性

- ・pH8.3~9.3 の弱アルカリ資材です。
- ・比重 0.95~1.05 の粉末状で消石灰や炭カル資材に比べ粉じんの発生が少ない製品です。
- ・重質炭酸カルシウムを主成分とし、副成分として炭酸マグネシウム、ケイ酸塩を含みます。
- ・酸と反応し中和するとともに、土壌の電気伝導度を低減させる効果もあります。
- ・荷姿 20kg ビニール袋 1000kg フレコン入り

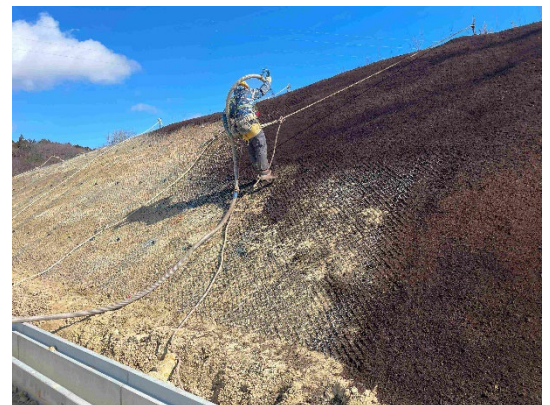


酸性硫酸塩土壌法面の緑化対策

酸性硫酸塩土壌は大気中の酸素や微生物による酸化作用で硫酸を生成する結果、強酸性を示すことになります。

法面の場合、表面散布による対策になります。ドクターペーハーTAMA や他のアルカリ性対策製品も Ca イオンによる中和作用に依存しており、土壌の陽イオン吸着により必要な「深さ」まで改良することが難しいのが現状です。

これを解決するために開発された製品がドクターペーハーCaP で地被類の根系が伸張する範囲を中性化する効果があります。この資材を併用することで、「深さ」の改良が早期に実現します。



植生基盤材に中和資材(Dr.pHSX)と Dr.pHCaP を併用した酸性硫酸塩法面の施工事例